

第13回日本てんかん学会近畿地方会プログラム

【日 時】平成29年7月23日（日）

*脳波セミナー 10時00分～11時20分
*近畿地方会 11時35分開始
*ランチョンセミナー 11時40分～12時40分
*総 会 12時55分～13時15分
*特 別 講 演 15時00分～16時00分

【会 場】大阪大学中之島センター

〒530-0005
大阪市北区中之島4-3-53
TEL：06-6444-2100 / FAX：06-6444-2338

【会 長】沖永 剛志（ベルランド総合病院 小児科）

【脳 波 「アナログ脳波からデジタル脳電図の時代へ」

セミナー】今井 克美（静岡てんかん・神経医療センター）

共催：大塚製薬株式会社/ユーシービージャパン株式会社

【ランチョン 「新規抗てんかん薬はいつ使うのか

セミナー】 ～ラコサミドの発売を受けて～

兼本 浩祐（愛知医科大学 精神科学講座）

共催：第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社

【特別講演】「てんかん患者の妊娠ケア

— 最近の知見を含めて —

加藤 昌明（むさしの国分寺クリニック）

次回予告

第14回日本てんかん学会近畿地方会

日 時：平成30年7月29日（日）

会 場：大阪大学中之島センター

会 長：當間 圭一郎（住友病院 神経内科）

参加者の皆様へ

【受付】 10階ロビーにて9時30分より受付を開始いたします。

【地方会参加費】 会員2,000円、非会員4,000円、非会員研修医3,000円
脳波セミナーを受講された技師2,000円

【脳波セミナー参加費】 2,000円

※脳波セミナーの参加費と地方会参加費は異なります。

※脳波セミナーのみご参加いただくことは可能です。

※引き続き地方会に参加される場合は地方会参加費が別途必要となります。

【抄録集】 2,000円（会員には事前発送いたします。）

【単位】

日本てんかん学会てんかん専門医資格更新単位：

研究発表・講演（筆頭演者）20単位、参加者10単位（近畿地方会参加者）

※同一学術集会における発表単位と参加単位は合算しない。

日本臨床神経生理学会認定更新点数：2点（脳波セミナー受講者のみ）

【交通案内】 大阪大学中之島センター

■電車でお越しになる場合

- ・京阪中之島線中之島駅6番出口より徒歩約5分、渡辺橋駅1番出口より徒歩約5分
- ・阪神本線福島駅より徒歩約9分
- ・JR東西線新福島駅より徒歩約9分
- ・JR環状線福島駅より徒歩約12分
- ・地下鉄四つ橋線肥後橋駅より徒歩約10分
- ・地下鉄御堂筋線淀屋橋駅より徒歩約16分

■駐車場はありません。車でのご来館はご遠慮下さい。



発表者の皆様へ

【受付・発表時間について】

1. 発表時間の30分前までにPC受付に発表データ（USBフラッシュメモリーなど）をお持ちください。
2. 発表7分、質疑3分です。発表時間を厳守して下さい。
3. 発表開始後7分でベルが1回、質疑3分を越せばベルが2回鳴ります。

【発表使用機材について】

1. 会場に発表用のパソコンをご用意しております。
2. 会場でご利用いただけるパソコンは下記の通りです。
※Windows 7/8、アプリケーションソフト：Windows MS PowerPoint 2010/2013
3. CD-R (CD-ROM)、USB フラッシュメモリー持込みの注意点
 - 1) 動画がある場合にはCD-R等のメディアは使用できません。必ずノートパソコンをお持ちください。
 - 2) CD-RおよびUSBフラッシュメモリーでお持込みの場合は下記の様式で保存してご用意ください。
※Windows…MS PowerPoint 2010/2013
 - 3) Macintoshの場合は、ノートパソコンをお持ちください。
 - 4) フォントは文字化けを防ぐため下記フォントに限定します。
日本語…MS ゴシック、MSP ゴシック、MS明朝、MSP 明朝
英語…Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
4. プレゼンテーションに他のデータ〈静止画・グラフ等〉をリンクさせている場合は必ず「図」として挿入してください。
※元のデータからリンクすることは、トラブルの原因となりますので避けてください。
※事前に必ず作成に使用されましたパソコン以外でのチェックを行ってください。

【ノートパソコン持込みの注意点】

1. OSはWindows、Macintoshが使用できます。
※使用するアプリケーションはPowerPointのみとさせていただきます。
2. バックアップ用データとしてCD-R (CD-ROM) またはUSBをご持参ください。
またパソコンのACアダプターは必ずご用意ください。
3. 会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状はMiniD-sub15ピンです。この形状に合ったパソコンをご用意ください。またこの形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でご持参ください。
4. スクリーンセーバー、省電力設定、パスワードは予め解除してください。
※発表データ受付時に確認させていただき、設定が解除されていない場合は設定を変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。
※パスワードの設定が解除されていない場合は、パスワードロック時にお呼び出しをする場合がございます。

脳波セミナー

10:00～11:20

◆座長 最上 友紀子(地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 小児神経科)

共催:大塚製薬株式会社 / ユーシービージャパン株式会社

アナログ脳波からデジタル脳電図の時代へ

今井 克美

(国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター
臨床研究部長、小児科)

開会あいさつ

◆会長 沖永 剛志

11:35～11:40

ランチョンセミナー

11:40～12:40

◆座長 木下 利彦(関西医科大学 精神神経科学講座)

共催:第一三共株式会社 / ユーシービージャパン株式会社

新規抗てんかん薬はいつ使うのか —ラコサミドの発売を受けて—

兼本 浩祐

(愛知医科大学 精神科学講座 教授)

休憩

12:40～12:55

総会

◆議長 加藤 天美

12:55～13:15

A. 成人

13:15～13:55

◆座長 小出 泰道(小出内科神経科)

1. 歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症における抗てんかん薬の効果
○上原尚子¹⁾、田口智之¹⁾、村井智彦¹⁾、中野仁¹⁾、木下真幸子¹⁾
1. 宇多野病院神経内科
2. 関西電力病院神経内科
2. 治療抵抗性にてんかんをきたした硬膜動静脈瘻2症例の臨床的検討
○影山恭史¹⁾、大井和起²⁾、橋本由貴³⁾、早坂有希¹⁾、足立洋¹⁾、太田雅彦¹⁾、石原佳菜子¹⁾、
山田隆平¹⁾、米田行宏¹⁾
1. 兵庫県立尼崎総合医療センター神経内科
2. 京都大学大学院てんかん・運動異常生理学講座
3. 神戸大学大学院医学研究科 神経内科学
3. 血管性認知症に合併した、非痙攣性てんかん重積(NCSE)の2例
○當間圭一郎、西中和人、田村暁子、関谷智子、瀨田雄一、小川慈、六車彩子、岡田信久、
宇高不可思
住友病院 神経内科

4. 前知謬 (promnesia) を呈したてんかん患者4例の検討
○梶川駿介¹⁾、小林勝哉¹⁾、坂本光弘¹⁾、宇佐美清英²⁾、笠井祥子³⁾、本多正幸¹⁾、下竹昭寛⁴⁾、
人見健文⁵⁾、松本理器¹⁾、池田昭夫⁴⁾、高橋良輔¹⁾
1. 京都大学大学院医学研究科臨床神経学
2. Epilepsy Center, Neurological Institute, Cleveland Clinic
3. 京都きづ川病院 神経内科
4. 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学
5. 京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学

B. 外科

13:55 ~ 14:45

◆座長 貴島 晴彦 (大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科)

5. Non-lesional neocortical epilepsyにおけるMEGの有用性
○永井靖識¹⁾、菊池隆幸¹⁾、小林勝哉²⁾、松本理器^{2,3)}、稲田拓¹⁾、松橋眞生^{4,5)}、山尾幸広¹⁾、
吉田和道¹⁾、池田昭夫³⁾、宮本享¹⁾
1. 京都大学脳神経外科
2. 京都大学神経内科
3. 京都大学てんかん・運動異常生理学講座
4. 京都大学学際融合教育研究推進センター
5. 京都大学医学研究科附属脳機能総合研究センター
6. 側頭葉内側 glial cell tumor の周辺に広範囲に異所性神経細胞の散在を認めた1例
○西林宏起、尾崎充宣、小倉光博、中尾直之
和歌山県立医科大学 医学部 脳神経外科
7. てんかん外科治療とペランパネルが奏功した難治てんかん例の1例
○中野直樹¹⁾、宮内正晴¹⁾、中川修宏¹⁾、布川知央²⁾、吉岡宏真¹⁾、村上沙織¹⁾、田崎貴之¹⁾、
加藤天美¹⁾
1. 近畿大学 医学部 脳神経外科
2. 近畿大学附属病院 救命救急センター
8. 食事により誘発されるてんかん発作に対して外科治療を行った一例
○馬場良子¹⁾、宇田武弘¹⁾、中条公輔¹⁾、川嶋俊幸¹⁾、宇田裕史²⁾、田上雄大¹⁾、渡部祐輔¹⁾、
大畑建治¹⁾
1. 大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学
2. 八尾徳洲会総合病院 脳神経外科
9. 焦点側の判定が難しかった補足運動野てんかんの手術例
A surgical case with supplementary motor area epilepsy
○山本祥太、押野悟、梅原徹、柳澤琢史、田中将貴、橋本洋章、小林真紀、貴島晴彦
大阪大学 医学部 脳神経外科

休憩

14:45 ~ 15:00

てんかん患者の妊娠ケア — 最近の知見を含めて —

加藤 昌明

(むさしの国分寺クリニック 院長)

C. 小児

16:00～16:50

◆座長 瀬戸 俊之 (大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学)

10. 乳児期早期にてんかん性 spasms を発症し半球離断術を施行した1例
○金聖泰¹⁾、川脇壽¹⁾、福岡正隆¹⁾、井上岳司¹⁾、温井めぐみ¹⁾、九鬼一郎¹⁾、岡崎伸¹⁾、
宇田武弘^{2,3)}
 1. 大阪市立総合医療センター 小児神経内科
 2. 大阪市立総合医療センター 小児脳神経外科
 3. 大阪市立大学 大学院医学研究科脳神経外科
11. 頻発するミオクロニー発作消失後に焦点性発作が出現した特発性てんかんの一例
○大谷和正¹⁾、芳山恵²⁾、津田祐子³⁾
 1. おおたにクリニック
 2. 国保日高総合病院小児科
 3. 和歌山県立医大小児科
12. レット症候群に合併するてんかんについて
○青天目信^{1,2)}、林良子^{1,2)}、澁谷与扶子^{1,2)}、廣恒実加^{1,2)}、近藤秀仁^{1,2)}、谷河純平^{1,2)}、
岩谷祥子^{1,2,3)}、富永康仁^{1,2,3)}、下野九理子^{1,2,3)}、大藪恵一^{1,2)}
 1. 大阪大学大学院 医学系研究科 小児科
 2. 大阪大学医学部附属病院 てんかんセンター
 3. 大阪大学連合小児発達学研究所
13. HUWE1 遺伝子変異が同定されたウエスト症候群の兄弟例
○前川加奈美¹⁾、木水友一¹⁾、中井理恵¹⁾、大星大観¹⁾、池田妙¹⁾、最上友紀子¹⁾、
柳原恵子¹⁾、鈴木保宏¹⁾、岡本伸彦²⁾
 1. 大阪母子医療センター 小児神経科
 2. 大阪母子医療センター 遺伝診療科
14. KCNQ2 変異を認め新生児期に難治性の痙攣群発を繰り返した一例
○山崎早苗¹⁾、畑彩葉¹⁾、島盛雅¹⁾、堀田将志¹⁾、上野瑠美¹⁾、土屋浩史¹⁾、山内淳¹⁾、
甲斐昌彦¹⁾、沖永剛志¹⁾、加藤光広²⁾
 1. ベルランド総合病院 小児科
 2. 昭和大学 小児科